



小学校の先生による水防災授業の様子

教育委員会や学校の先生と連携して、  
小学生等を対象とした**防災・河川教育を強化中**です！

国交省職員による**出前講座**

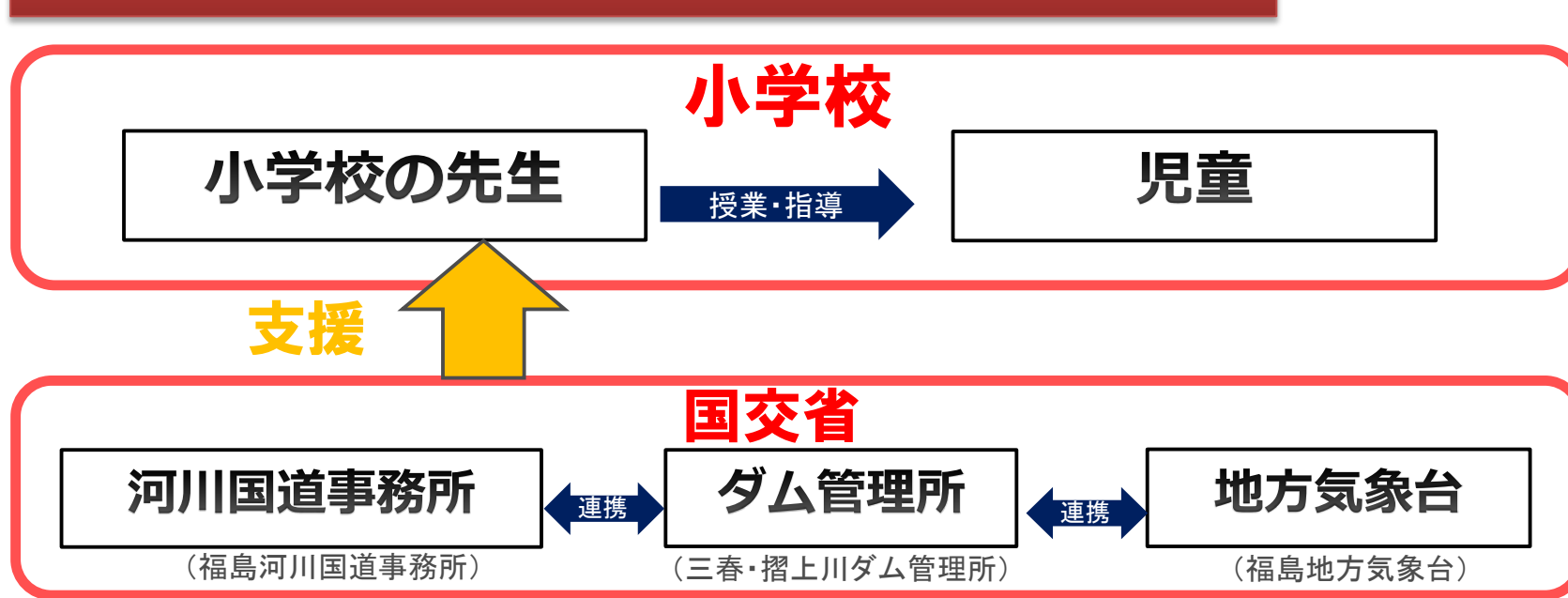


小学校の生徒

出前講座の様子

課題：従来の出前講座では、年間10校程度の学校に対し、1回1時間程度の講義・実験を行う単発形式で、学習の定着・継続性に課題。

新たな支援体制を構築



支援内容のポイント

- 多忙な先生がすぐさま授業で活用できるように、「教材3点セット」を作成する。  
①指導計画書  
②板書計画  
③教師用語解説書
- 作成にあたっては、先生と協力し、学校側の意向やニーズを踏まえ進める。

学校や地域での「**自立的・実践的な防災・河川教育の普及促進**」のためには、  
「**出前講座**」の単発的な取組だけでなく「**学校授業**」による防災教育の定着継続が重要！

学校の先生による**水防災授業**

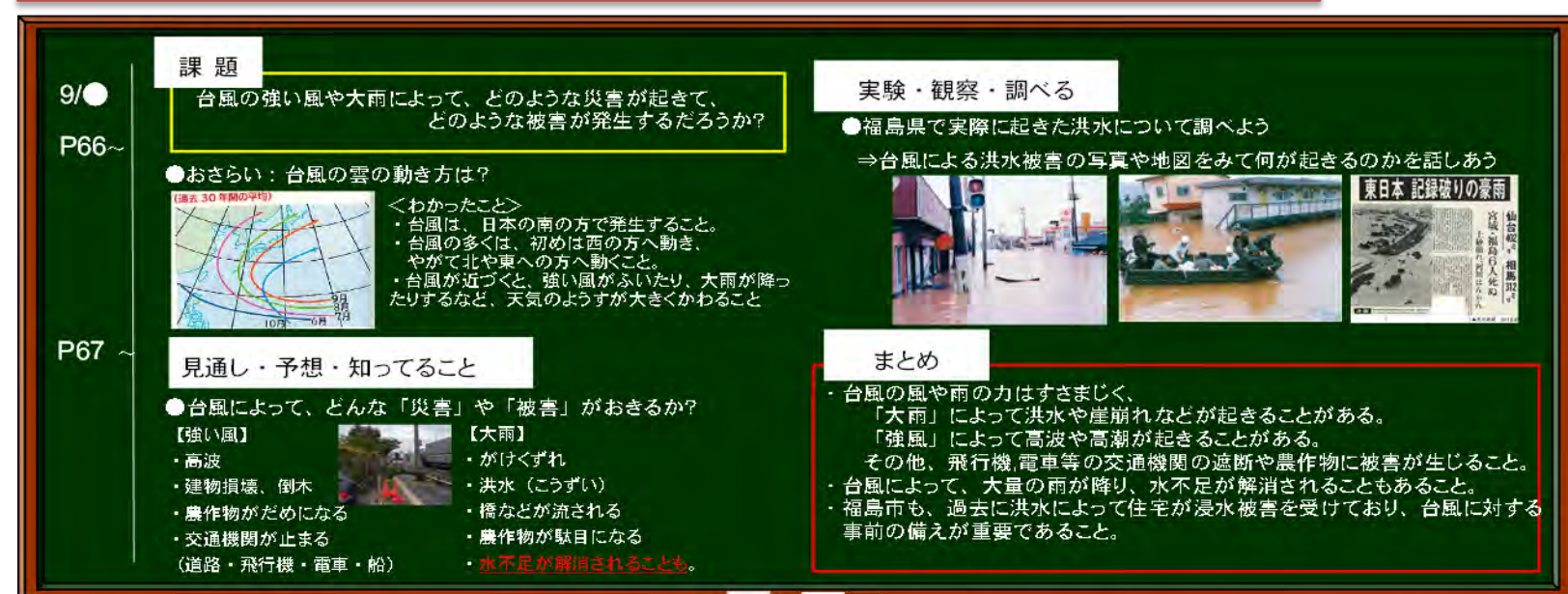


小学校の先生

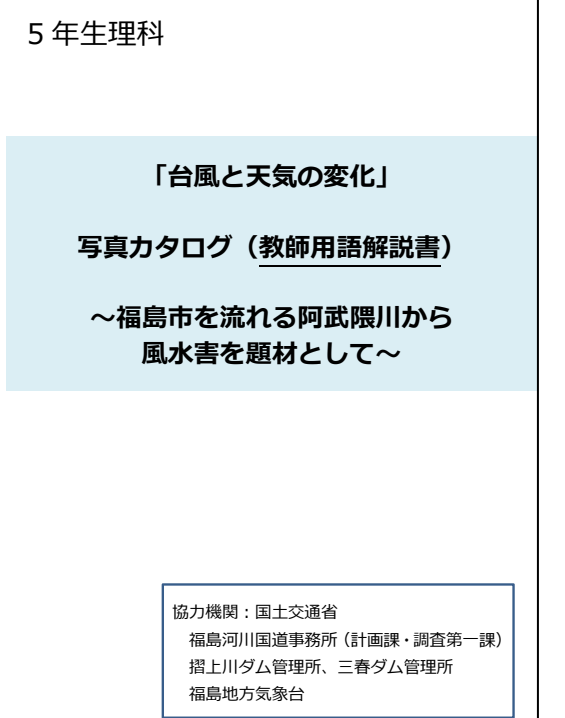
授業実施前の打合せの様子

阿武隈川や地域の特性を踏まえた、子供達が実感しやすい教材を作成中。モデル校で試行後、他校他自治体にも展開し、普及啓発。

学校授業の教材作成を支援



板書計画(案)



教師用語解説書(案)

**9月中旬より、昨年度に作成した教材にて授業を実施！**

授業実施後の先生の声

- 通学路における過去の洪水の写真など、生徒の実生活と直結する教材により、分かりやすい授業を実施できた。
- 国交省と連携した授業は、国交省が持つ豊富な専門知識や情報と、生徒側の視点を押さえた教員の指導スキルが融合することで、出前講座以上に子供たちの理解を深めることができる良い取組だと感じた。

今後も水防災授業の教材作成の支援等を通じ、継続的な防災・河川教育を推進していきます。

※教材は確定前のイメージであり、今後の検討の中で変わることがあります。